

授業科目 公衆衛生学

【担当教員名】 伊藤 隆	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

医学は基礎医学、臨床医学、社会医学に分類される。基礎医学はヒトの健康の保持・増進のために必要な基礎科学であり、臨床医学は個々の患者について病態を知り、適切な治療等により、健康の回復を図るものである。公衆衛生学は法医学などとともに、社会医学に分類される。公衆衛生学は地域社会の住民の健康とQOLの向上を目指す科学であり、技術であることを理解する。公衆衛生行政は、公の責任において、国・地方公共団体が組織的に国民の健康の保持増進・向上を図る活動である。講義では、公衆衛生学の基本的な事柄を中心に講じ、理解を促す。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

バランスの取れた看護の専門家としての資質を確保するため、また、ヒトの集団を対象に健康の面から評価・分析し、計画を立て、行動に移すために、公衆衛生的アプローチを習得することは、重要である。ヒトの集団に対する社会医学的手法、保健医療計画策定の基礎、公衆衛生行政の概要、基礎的な疫学手法などにつき理解を深める。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	公衆衛生学とは		
2	疾病統計・疫学		
3	疾病予防と健康管理		
4	地域保健と衛生行政		
5	母子保健・学校保健		
6	老人保健・福祉		
7	保健医療制度と法規		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	新体系看護学 13 公衆衛生学 2版		メヂカルフレンド社	2,900円
参考書				
その他の資料	適宜、プリント配布			
【評価方法】 出欠、筆記試験	【履修上の留意点】			